



学校教育目標 社会に貢献しながら、
自立する生徒の育成
～気づき、考え、実行する～

やまゆり



学びの実感、確かな前進

長かった2学期も、今日で終了となりました。今学期のスタートは、生徒会最大行事である、第51回若鮎祭（文化の部）への取り組みから始まりました。一人ひとりが自分の役割を果たし、仲間と支え合いながら、心を込めて舞台をつくり上げた姿は、本当に見事でした。小規模校ならではの「全員が主役」という良さが随所に表れ、新たな伝統を築いてくれました。その後の様々な行事にも、真剣に向き合い、経験を確かな成長へとつなげてくれたことを誇りに思います。

冬至を迎える、これから少しづつ日が長くなっていきますが、冬の寒さはこれからが本番です。道志の冬は厳しいものがあります。しかし、厳しい季節を越えてこそ、春の芽吹きは一層力強く、美しく感じられるものです。生徒の皆さんにも、この冬を「次の成長への準備期間」として大切に過ごしてほしいと思います。

1・2年生は、三者懇談（教育相談）での話し合いや通信表、そして2学期の振り返りをもとに、冬休みには教科の復習や課題に計画的に取り組みましょう。3年生は、いよいよ進路決定に向けた大詰めの時期です。書類作成や面接・作文の準備など、やるべきことは多いですが、努力は必ず自信につながります。焦らず、一歩ずつ取り組んでいきましょう。

いずれにせよ、これからさらに成長していくためには、この冬休みの過ごし方がとても重要です。自然豊かな環境の中で、心と体を整えながら、規則正しい生活を心がけ、健康で安全に過ごしてください。どうか、価値ある有意義な冬休みにしてほしいと思います。

何も咲かない寒い日は 下へ下へと根を伸ばせ やがて大きな花が咲く

この言葉は、シドニーオリンピック女子マラソン金メダリスト・高橋尚子さんが、高校時代の恩師から贈られ、座右の銘として大切にされてきたものです。もとは、三洋電機副社長・故後藤清一さんの言葉だといわれています。

「諦めずに努力を続けていれば、いつか花は咲く」道志の大地にしっかりと根を張る木々のように、見え

ないところで力を蓄える時間こそ、未来を形づくる大切な時です。「未来」につながる「いま・このとき」を大切にしながら、一歩ずつ努力を積み重ねていきましょう。

ともに見つめる子どもたちの成長

4月から9か月が過ぎようとしています。これまで教育活動を進めてこられましたこと、心より感謝申し上げます。道志中は、地域の皆様の温かいまなざしと支えがあってこそ、子どもたちが安心して学び、挑戦できる学校です。日頃からのご理解とご協力に、改めて深く感謝申し上げます。

今学期も、子どもたちは、日々の学校生活、行事、部活動など、多くの経験を通して大きく成長することができました。少人数だからこそ、一人ひとりの努力や変化がよく見え、その成長を共に喜べることを嬉しく思います。保護者の皆様、地域の皆様の支えが、子どもたちの背中を力強く押してくださっています。

明日から冬休みになります。この期間、生徒たちは家庭や地域で過ごす時間がが多くなります。どうか、生徒たちが健康で有意義に過ごせるよう、見守りとお声かけをお願いいたします。

冬休みは、年末年始をはさみ、日本の伝統的な行事が続く時期です。親戚や知人が訪れる機会も増えることでしょう。だからこそ、あいさつや礼儀を身につける良い機会もあります。「冬休みの過ごし方」については、配付した文書をご確認ください。

2学期の終了にあたり、皆様が心安らかに新しい年を迎えることをお祈り申し上げます。

- ◆ 通信表等を使って、頑張ったお子様に、温かい励ましをお願いします。
- ◆ 学校での様子や将来について、じっくりお子様と話し合いをしてください。
- ◆ 健康診断の結果を受け、治療等をお願いします。
- ◆ 感染症の同時流行が懸念されています。感染対策の徹底、継続をお願いします。
- ◆ 何か問題や事故が発生した場合、連絡をお願いします。なお、年末年始（12月27日～1月4日）は、学校閉庁日となります。